

欠損歯列補綴咬合学講座
(Department of Removable Prosthodontics and Occlusion)

教育研究原著論文

1) 印刷公表

1. Miyake A, Komasa S, Hashimoto Y, Komasa Y, Okazaki J. Adsorption of saliva related protein on denture materials : an X-ray photoelectron spectroscopy and quartz crystal microbalance study. *Adv Mater Sci Eng* 2016 ; 2016 : Article ID 5478326 (9 pages). (科研費 基盤研究 (C) 26462943)
2. Nishikawa H*, Hasegawa T*, Miyake A, Tashiro Y, Hashimoto Y, Blank H*², Rijnders G*². Relationship between the Ca/P ratio of hydroxyapatite thin films and the spatial energy distribution of the ablation laser in pulsed laser deposition. *Mater Lett* 2016 ; 165 : 95-98.
3. Su YM, Komasa S, Sekino T*³, Nishizaki H, Okazaki J. Nanostructured Ti6Al4V alloy fabricated using modified alkali-heat treatment : Characterization and cell adhesion. *Mater Sci Eng C Mater Biol Appl* 2016 ; 59 : 617-623. (科研費 若手研究 (B) 26861664)
4. Komasa S, Miyake A, Fujio M, Nishizaki M, Taguchi Y, Kusumoto T, Okajima Y, Yoshioka K, Yoshimine S, Yamamoto S, Onchi Y, Kon-I H, Nishizaki H, Okazaki J. Influence of titanium surface topography on in vitro differentiation of bone marrow mesenchymal stem cells into osteoblasts. *バイオインテグレーション学会誌* 2016 ; 6(1) : 17-26.
5. Nakazawa Y, Komasa S, Takahashi K, Okazaki J, Komasa Y. The value of maltitol-containing cookies as a food for the elderly. *日本歯科保存学雑誌* 2016 ; 59(2) : 151-160.
6. Fujita J, Okamura T, Komasa S, Matsuda Y, Tanaka A, Okazaki J, Tamura I, Sanoki Y. Comparison of simulated, foreign-patient interviews with and without Skype assisted language interpretation. *J Osaka Dent Univ* 2016 ; 50(2) : 73-77.
7. Komasa S, Sato W, Naito D, Nishizaki M, Zhang H, Nakai K, Kusumoto T, Yoshimine S, Kon-I H, Takahashi K, Nishizaki H, Komasa Y, Okazaki J. Impact of clinical experience on the attitude of dentists toward nonmetal clasp dentures. *J Osaka Dent Univ* 2016 ; 50(2) : 85-92.
8. Mashimo C, Yamane K, Yamanaka T, Maruyama H, Wang PL, Komasa S, Okazaki J, Nambu T. Genome sequence of actinomyces naeslundii strain ATCC 27039, isolated from an abdominal wound abscess. *Genome Announc* 2016 ; 4(6) : e01443-16. (科研費 基盤研究 (C) 26861552, 16K11469, 16K11573, 16K11876)

2) 学会発表

1. 中井健一郎, 前田武志, 新原拓也, 洪 光*⁴, 王 維奇*⁵, 西崎 宏, 岡崎定司. 二酸化塩素が歯科補綴用材料の物性に与える影響. 第8回日本義歯ケア学会総会・学術大会 2016. 1. 24 仙台市.
2. 三宅晃子, 小正 聡, 橋本典也, 高橋一也, 西崎 宏, 小正 裕, 岡崎定司. バイオセンサの歯科補綴への応用. バイオインテグレーション学会第6回学術大会・総会 2016. 3. 13 大阪市.
3. 田代悠一郎, 小正 聡, 三宅晃子, 橋本典也, 西崎 宏, 小正 裕, 岡崎定司. チタン成膜を行った QCM センサによる骨髄細胞の初期接着の測定について. バイオインテグレーション学会第6回学術大会・総会 2016. 3. 13 大阪市.
4. 西崎真理子, 小正 聡, 藤尾美穂, 西崎 宏, 岡崎定司. 濃アルカリ修飾によるナノジルコニア材料の表面改質について. バイオインテグレーション学会第6回学術大会・総会 2016. 3. 13 大阪市.
5. 小正 聡, 三宅晃子, 橋本典也, 楠本哲次, 西崎 宏, 岡崎定司. バイオセンサを利用したジルコニアおよび純チタン金属表面への PRP 吸着量の比較. バイオインテグレーション学会第6回学術大会・総会 2016. 3. 13 大阪市.
6. 藤尾美穂, 小正 聡, 西崎真理子, 西崎 宏, 岡崎定司. ナノ構造析出純チタン金属に加熱処理が与える影響について. バイオインテグレーション学会第6回学術大会・総会 2016. 3. 13 大阪市.
7. 藤尾美穂, 小正 聡, 蘇 英敏, 西崎真理子, 楠本哲次, 関野 徹*³, 西崎 宏, 岡崎定司. 加熱処理ナノ構造析出純チタン金属が骨髄細胞の初期接着能に与える影響について. 日本補綴歯科学会第125回学術大会 2016. 7. 9 金沢市.
8. 吉岡紀代子, 小正 聡, 岡島裕梨, 西崎 宏, 岡崎定司. 濃アルカリ処理によりナノ構造を析出した純チタン金属が遺伝子発現に与える影響について. 日本補綴歯科学会第125回学術大会 2016. 7. 9 金沢市.
9. 岡島裕梨, 小正 聡, 寺田知里, 江本菜摘, 吉岡紀代子, 篠原健吾, 武田智香子, 西崎 宏, 岡崎定司. 適切な治療説明が患者とのコミュニケーションに与える影響について. 日本補綴歯科学会第125回学術大会 2016. 7. 10 金沢市.
10. 佐藤 航, 小正 聡, 内藤大介, 高橋一也, 西崎 宏, 小正 裕, 岡崎定司. 治療経験がノンメタルクラスプデンチャーに対する意識に与える影響について. 日本補綴歯科学会第125回学術大会 2016. 7. 10 金沢市.
11. 小正 聡. 重度の咬耗歯の審美改善をフルジルコニアのクラウンを用いて修復した1症例. 日本補綴歯科学会第125回学術大会 2016. 7. 10 金沢市.
12. 西崎真理子, 小正 聡, 佐藤 航, 西崎 宏, 岡崎定司. 濃アルカリ処理がナノジルコニア材料表面に与える影響について. 第11回日本バイオマテリアル関西若手研究発表会 2016. 8. 6 神戸市.

13. 小正 聡, 田口洋一郎, 楠本哲次, 寺田知里, 西崎 宏, 岡崎定司. 浸漬アルカリ溶液の濃度が純チタン金属表面の骨形成活性に与える影響について. 第 11 回日本バイオマテリアル関西若手研究発表会 2016. 8. 6 神戸市.
14. 三宅晃子, 小正 聡, 田代悠一郎, 中澤修一, 橋本典也, 西崎 宏, 小正 裕, 岡崎定司. 義歯材料への唾液関連タンパク質の吸着分析. 第 11 回日本バイオマテリアル関西若手研究発表会 2016. 8. 6 神戸市.
15. 小正 聡, 西崎真理子, 田口洋一郎, 楠本哲次, 佐藤 航, 寺田知里, 西崎 宏, 岡崎定司. 濃アルカリ処理を行った新規インプラント材料の生体適合性. 第 46 回日本口腔インプラント学会学術大会 2016. 9. 17 名古屋市.
16. 岡崎定司, 小正 聡, 佐藤 航, 西崎 宏. 審美性と強度を兼ね備えたナノジルコニアクラスプの創製. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
17. 田代悠一郎, 小正 聡, 三宅晃子, 中澤修一, 橋本典也, 西崎 宏, 小正 裕, 岡崎定司. チタン成膜を行った QCM センサによる骨髓細胞の初期接着の測定について. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
18. 小正 裕, 三宅晃子, 小正 聡, 橋本典也, 高橋一也, 岡崎定司. 新規バイオセンサを利用した口腔内における義歯の汚れの脱着の解析. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
19. 張 泓灝, 小正 聡, 真下千穂, 陳 路元, 西崎 宏, 王 宝禮, 岡崎定司. ナノ構造析出純チタン金属表面に対する細菌付着の検討. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
20. 三宅晃子, 小正 聡, 橋本典也, 高橋一也, 西崎 宏, 小正 裕, 岡崎定司. 新規バイオセンサによる口腔内の汚れの分析. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
21. 西崎真理子, 小正 聡, 藤尾美穂, 寺田知里, 西崎 宏, 岡崎定司. 親水性付与ナノジルコニア新規インプラント材料の創製. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
22. 田口洋一郎, 小正 聡, 山脇 勲, 岡崎定司, 梅田 誠. ナノ構造化チタン金属表面上における硬組織分化誘導に対する *Porphyromonas gingivalis* LPS の影響. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
23. 小正 聡, 田口洋一郎, 楠本哲次, 岡島裕梨, 吉岡紀代子, 篠原憲吾, 武田智香子, 西崎 宏, 岡崎定司. 糖尿病状態が TNS 析出純チタン金属表面に及ぼす影響について. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
24. 蘇 英敏, 小正 聡, 藤尾美穂, 西崎真理子, 寺田知里, 西崎 宏, 岡崎定司. 結晶化 TNS 析出チタン合金インプラント材料の創製. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
25. 藤尾美穂, 小正 聡, 西崎真理子, 西崎 宏, 岡崎定司. 加熱処理が TNS 析出純チタン金属に与える影響について. 第 23 回日本歯科医学会総会 2016. 10. 21 福岡市.
26. 田代悠一郎, 小正 聡, 三宅晃子, 中澤修一, 橋本典也, 高橋一也, 西崎 宏, 小正 裕, 岡崎定司. チタン QCM ナノシートセンサを利用した細胞接着タンパク質の吸着挙動の測定. 平成 28 年度日本補綴歯科学会関西支部総会ならびに学術大会 2016. 10. 29 大阪市.

27. 小正 聡, 三宅晃子, 田代悠一郎, 中澤修一, 寺田知里, 恩地良幸, 楠本哲次, 西崎 宏, 小正 裕, 岡崎定司. 新規バイオセンサの臨床応用の可能性について. 平成 28 年度日本補綴歯科学会関西支部総会ならびに学術大会 2016. 10. 29 大阪市.
28. 張 泓灝, 小正 聡, 真下千穂, 西崎 宏, 岡崎定司. ナノ構造析出純チタン金属への抗菌性の付与の可能性について. 第 30 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会 2016. 11. 20 京都市.
29. 西崎真理子, 小正 聡, 藤尾美穂, 寺田知里, 楠本哲次, 西崎 宏, 田中昌博, 岡崎定司. 表面制御新規インプラント材料表面における生体適合性について. 第 30 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会 2016. 11. 20 京都市.
30. 帆足綾希子^{*6}, 帆足 昇^{*6}, 小正 聡, 岡崎定司. さとう式口腔リンパケアが口腔リハビリに与える影響について. 第 30 回日本口腔リハビリテーション学会学術大会 2016. 11. 20 京都市.
31. 山脇 勲, 田口洋一郎, 小正 聡, 田中昭男, 梅田 誠. ナノレベル表面構造制御チタン金属上における II 型糖尿病モデルラット骨髄由来間葉系間質細胞の硬組織分化誘導にグルコース濃度が及ぼす影響. 第 549 回大阪歯科学会例会 2016. 12. 10 枚方市.
32. 寺田知里, 小正 聡, 楠本哲次, 西崎 宏, 岡崎定司. タンパク質のコーティングがナノ構造析出純チタン金属表面の硬組織分化誘導能に与える影響について. 日本口腔インプラント学会第 36 回近畿・北陸支部学術大会 2016. 12. 18 富山市.

* 近畿大学生物理工学部医用工学科

*2 Institute for Nanotechnology, University of Twente

*3 大阪大学産業科学研究所

*4 東北大学歯学部歯学イノベーションリエゾンセンター

*5 東北大学大学院

*6 帆足歯科医院